

愛知県心身障害者コロニー中央病院 公的医療機関等2025プラン

平成29年12月 策定

【心身障害者コロニー中央病院の基本情報】

医療機関名：愛知県心身障害者コロニー中央病院

開設主体：愛知県

所在地：春日井市神屋町713-8

許可病床数：295

（病床の種別）精神65、一般230

（病床機能別）急性期135、慢性期120、休棟40

稼働病床数：240

（病床の種別）精神25、一般215

（病床機能別）急性期120、慢性期120

診療科目：内科、外科、脳神経外科、整形外科、精神科、神経科、小児科、皮膚泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、麻酔科、歯科

職員数（平成29年12月1日現在）：313

- ・ 医師 25
- ・ 看護職員 225
- ・ 専門職 54
- ・ 事務職員 9

【1. 現状と課題】

① 構想区域の現状

- ・ 総人口は県全体とほぼ同様の推移で減少していく。平成52年に向けて65歳以上人口は増加するが、増加率は県全体より低くなる。75歳以上人口は平成37年に向け大きく増加し、その後は減少傾向に転じる。
- ・ 平成25年度における入院患者の自域依存率は、4機能区分で77%から83%で高くなっている。また、県外からの流入も多くみられる。
- ・ ほぼすべての主要診断群（DPC）の入院及び救急搬送実績があり、緊急性の高い傷病（急性心筋梗塞等）及び高齢者の発生頻度が高い疾患（成人肺炎等）の入院実績があることから、区域内に急性期入院機能を有していると考ええる。
- ・ 尾張北部医療圏の小児医療は、発熱などの比較的軽症な小児患者は、診療所（かかりつけ医）が対応し、対応が困難な事例については、連携する病院へ患者が紹介され、受け入れるシステムが機能している。
- ・ コロニー中央病院は、心身の発達に重大な障害を及ぼす各種疾病に対する専門的かつ総合的な診断とその予防・治療を担い、心身の発達障害に関する専門病院として機能している。
- ・ コロニー中央病院は、「愛知県周産期医療体制整備計画（平成23年3月）」において、周産期母子医療センター等のNICUの長期入院児の在宅移行への支援や退院した重症児等のレスパイト入院を受け入れ、在宅の重症児等の療育を支援することとされている。

② 構想区域の課題

- ・ 心身の発達に障害のある人が身近な地域で安心して医療を受けられる環境づくりや、医療機関間の機能分担と連携の強化を進める必要がある。
コロニー中央病院は、心身の発達障害に関する地域医療の充実のために、地域医療機関の障害に関する理解向上への取組み、紹介、逆紹介による医療機関の機能分担と連携強化等に努めていく。
- ・ 「愛知県周産期医療体制整備計画」に記載されたコロニー中央病院の機能を充実させていく。
- ・ コロニー中央病院は、尾張北部医療圏を中心とした県内全体の周産期母子医療センターとの連携強化を図る。

③ 自施設の現状

- ・ 理念
私たちは成長や発達に支援を必要とする方に、より良い医療を提供するように努めます。
- ・ 基本方針
 - 1 胎児期から成人までを対象とし、患者さんの目線に立ったやさしく、安心できる医療を行います。
 - 2 心とからだの成長・発達に影響する子どもの疾患を総合的に判断し、良質な医療を専門的に提供します。
 - 3 患者さんが自立した生活ができるよう、在宅支援や地域との医療連携を推進します。
 - 4 成長・発達に影響する病気の原因追究および治療の開発を、発達障害研究所やこばと学園と協力して進めます。
- ・ 診療実績(平成28年度)
届出入院基本料 ハイケアユニット入院料管理料 1 (8床)、小児入院医療管理料 2 (108床)
精神病棟入院基本料 10対1 (25床)、障害者施設等入院基本料 10対1 (120床)
平均在院日数 29.7 病床稼働率 60.8
- ・ 職員数
医師 25、看護職員 225、その他専門職 54、事務職員 9
- ・ 特徴
急性期病床120床を中心として、重症心身障害児者施設の慢性期病床120床も運営
- ・ 政策医療
障害児者医療及び5疾病5事業のうち「小児医療」において、コロニー中央病院は、心身の発達に重大な障害を及ぼす各種疾病に対する専門的かつ総合的な診断とその予防・治療を担い、心身の発達障害に関する専門病院として機能している。
また、「周産期医療」については、「愛知県周産期医療体制整備計画」(平成23年3月策定)に基づき、周産期母子医療センター等のNICUの長期入院児の在宅移行への支援や退院した重症児等のレスパイト入院(介護休暇目的入院)を受け入れ、在宅の重症児等の療育を支援しているところである。
さらに、「精神疾患」については、精神発達障害医療分野において、地域療育支援部門と連携し、外来・入院機能を始め、緊急時の受け入れや、特殊な症例の早期診断・早期療育指導などに取り組み、発達障害支援における医療面からの支援機能を担っている。
- ・ 他機関との連携
愛知県及び名古屋大学の間で、「障害児者医療に係る医師の育成及び確保に関する協定」が締結され、障害児者医療に携わる医師の育成を図るとともに、コロニー中央病院等県立病院への医師の派遣を実施している。

④ 自施設の課題

- ・ 他の病院では対応困難なNICU長期入院患者を対象とした在宅移行の支援。
- ・ ダウン症等の遺伝疾患患者を対象とした専門的な医療の拡充。
- ・ 大学病院や他の県立病院等との連携の促進。
- ・ 医師の充足。
- ・ 電子カルテ稼働の準備。

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～④を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

- ・ コロニー中央病院は、心身に発達障害のある人を対象に生後間もない小児期から成人に至るまで幅広い医療を展開している国内でも稀有な病院である。
医療療育総合センター（仮称）発足後は、県内の発達障害医療の拠点施設及び小児・周産期医療の後方支援施設として、重い障害のある児者への専門的な医療ケアや、在宅医療を支えるショートステイや付き添いなしのレスパイト入院を充実した看護体制のもとで行うなど、障害者医療に特化した医療を提供していく。
- ・ 染色体疾患を中心に患者や家族に遺伝学的情報の提供や遺伝カウンセリングを実施し、遺伝性疾患に対する総合的な治療を提供していく。

② 今後持つべき病床機能

- ・ コロニー中央病院の入院患者は重症度、医療・看護必要度が著しく高く、また、人工呼吸器使用患者が増加し呼吸ケアの必要が増大していることから、急性期病棟を維持していく。
- ・ 児童思春期年代（主に15歳未満の児）の虐待に起因する精神障害（心身症、不登校）の診断、治療を行う心療科が小児保健医療総合センターから医療療育総合センター（仮称）に移管され、精神病床において患者を受け入れる。
- ・ 医療療育総合センター（仮称）一期工事で整備した重症心身障害児者病棟について、引き続き慢性期病棟として維持していく。

③ その他見直すべき点

- ・ 医療療育総合センター（仮称）発達障害研究所との連携により、医療の現場において、専門性の高い研究の成果を心身の発達に障害のある人々の診断・治療に還元していく。
- ・ 医療療育総合センター（仮称）と地域の医療・療育機関を繋ぐ窓口となる部署として、センター開所に先行して地域支援課に相談支援機能を一元化しており、センター発足後、在宅の看護相談や療育の相談及び入退院等に係るソーシャルワーク機能の更なる充実を図っていく。
- ・ 医療療育総合センター（仮称）発足時に現行の医事課を運用部に移管し、事務部門の一体化による体制強化と効率化を図る。

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4 機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期	135		147
回復期			
慢性期	120		120
(合計)	255		267

・愛知県地域医療再生計画（平成23年）により、発達障害者を始めとした障害児（者）医療をコロニー中央病院が担うこととなり、あいち小児保健医療総合センター心療科が移管される。

<年次スケジュール>

	取組内容	到達目標	(参考) 関連施策等
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> ○小児保健医療総合センター心療科のコロニー中央病院への移管 ○医療療育総合センター（仮称）の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○コロニー中央病院における心療科職員の充足 ○医療療育総合センター（仮称）の建築工事の推進 	
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> ○小児保健医療総合センター心療科のコロニー中央病院への移管 ○医療療育総合センター（仮称）の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○心療科仮病棟稼働 ○新センターの完成、引渡し ○職員の充足 	
2019～2020年度	<ul style="list-style-type: none"> ○医療療育総合センター（仮称）の運営開始 	<ul style="list-style-type: none"> ○診療業務の開始 	
2021～2023年度		<ul style="list-style-type: none"> ○円滑な病院運営 	

② 診療科の見直しについて

検討の上、見直さない場合には、記載は不要とする。

<今後の方針>

	現在 (本プラン策定時点)		将来 (2025年度)
維持	内科、精神科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、麻酔科、歯科	→	内科、精神科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、麻酔科、歯科
新設		→	循環器内科、神経内科、小児外科、児童精神科、心療精神科、臨床検査科、小児循環器科、小児神経科、小児歯科
廃止		→	
変更・統合	皮膚泌尿器科	→	皮膚科、泌尿器科

- ・ コロニー中央病院が従来対象としてきた知的障害を伴う患者に加え、知的障害を伴わない発達障害の患者も対象として、発達障害者に対する総合的拠点機能の役割を担うこととなり、あいち小児保健医療総合センターとの機能再編を行うことになった。
これにより、平成30年度、あいち小児保健医療総合センター心療科をコロニー中央病院に統合する。

③ その他の数値目標について

<p><u>医療提供に関する項目</u>（重症心身障害児者病棟を除く）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病床稼働率：87.1%（平成31年度見込、） ・ 紹介率：65%以上 ・ 逆紹介率：40%以上 <p><u>経営に関する項目*</u>（重症心身障害児者病棟を除く）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人件費率：70% <p>その他：</p>

* 地域医療介護総合確保基金を活用する可能性がある場合には、記載を必須とする。

【4. その他】
(自由記載)

